



各 位

平成 27 年 3 月 17 日

会社名 株式会社パレモ
代表者名 代表取締役社長 吉 田 馨
(JASDAQ・コード番号: 2778)
問合せ先 常務取締役管理担当 永 井 隆 司
TEL (0587) 24-9771

平成 27 年 2 月期通期業績予想及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 9 月 30 日付の「平成 27 年 2 月期 第 2 四半期決算短信(非連結)」において公表しました平成 27 年 2 月期(平成 26 年 2 月 21 日～平成 27 年 2 月 20 日)通期(非連結)業績予想を下記のとおり修正するとともに、期末配当予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年 2 月 21 日～平成 27 年 2 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,870	△214	△158	△577	△47 90
今回修正予想 (B)	31,875	△679	△619	△2,146	△178 18
増減額 (B-A)	△995	△465	△461	△1,569	—
増減率 (%)	△3.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 26 年 2 月期)	36,292	△479	△433	△2,254	△187 12

修正の理由

売上高におきましては、雑貨事業では秋以降のシーズン商品や生活雑貨に加え、バッグ業態も堅調な推移となりましたが、アパレル事業においては秋冬シーズンの主力商品であるアウターの販売が落ち込むなど、下半期の既存店売上高前年比が前回予想の前提条件下期 100.0%から 93.6%にとどまり、前回予想を 995 百万円下回る見通しであります。

利益面におきましては、在庫低減による商品鮮度、回転日数の改善への取り組みにより、下半期の売上総利益率は前年に比べ 0.6%改善したほか、不採算店閉店等の経費削減の取り組みにより、営業費の低減も進みましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益・経常利益はそれぞれ前回予想を 465 百万円、461 百万円下回る見通しであります。

当期純利益は上記要因のほかに、第 4 四半期会計期間(平成 26 年 11 月 21 日～平成 27 年 2 月 20 日)に特別損失として、営業活動から生じる損益が継続して赤字で、その固定資産簿価を回収できないと判断した店舗の減損損失として 372 百万円、2 期連続の営業損失となる見込みを踏まえて共用資産等の減損損失として 717 百万円を計上することから、当期純損失は△2,146 百万円となり、前回発表数値を大きく下回る見通しであります。

今後につきましては、引きつづき経営体質の改善改革をテーマに、事業基盤の再構築、基幹事業の収益回復に向けたMD（マーチャンダイジング）変革、販売サービス変革に取り組むとともに、不採算店舗閉店による赤字額削減ならびに営業費の削減について注力してまいります。

● 配当予想の修正について

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけております。

当社の利益配分につきましては、長期的な事業展開と財務健全性のための内部留保を確保しつつ、業績動向を勘案し、安定した配当を継続実施することを基本方針としております。

しかしながら、上記に記載しましたように、平成 27 年 2 月期通期の業績は前回予想を大きく下回る見通しとなりました。

このような状況から、期末配当予想につきましては平成 26 年 4 月 1 日付「平成 26 年 2 月期 決算短信」にて 1 株当たり 3 円と発表しておりましたが、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期の復配を目指してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

修正の内容

	年間配当金(円)		
基準日	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 26 年 4 月 1 日発表)	3 円 00 銭	3 円 00 銭	6 円 00 銭
今回修正予想	—	0 円 00 銭	3 円 00 銭
当期実績	3 円 00 銭	—	
前期実績 (平成 26 年 2 月期)	5 円 00 銭	5 円 00 銭	10 円 00 銭

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上